

令和元年度学校評価報告書

令和2年 3月27日

1 本年度の重点目標

- 1 自ら学ぶ意欲と態度を養い、基礎・基本を確実に習得して自己実現を図るにふさわしい確かな学力を保証する。
- 2 規範遵守の態度、生命尊重の精神、多様な他者を思いやる優しく豊かな心を涵養する。
- 3 健やかな心身の保持増進を促し、主体的・積極的に地域とグローバル社会に貢献する態度を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

○十分達成した ○達成した ○おおむね達成した ○達成できなかった
 の評価を「学校関係者評価の結果」欄にご記入ください。

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校教育目標は、生徒の実態や保護者、地域住民の願いを踏まえたものとなっているか。	○十分達成した。	○十分達成した。
改善方策	保護者及び地域、そして中学校との連携を今後も大切にし、相互連携を強化していく。	
中高一貫教育を推進し、STCプログラムの充実と、連携内容を充実できたか。	○達成した。 計画的に推進し充実させた。高校のプログラムを大幅に見直し、改善に努めた。中学校のプログラムの一部も改訂した。	○十分達成した。 中学校の先生方からも良い話しを聞いております。
改善方策	今後も中学校・高校のプログラムの見直しや改善を行う。	
学校だよりやHP等の内容の充実と、情報発信に努めたか。	○達成した。 ・HPの定期的更新 ・湧高だより、中高一貫だよりの発行（全戸配布） ・学校PRポスター・パンフレットの配布	○達成した。 もう少し学校PRの方法を考えてもいいのでは。
改善方策	情報発信・PRについて創造性ある取組を行う。説明会や広報について工夫し実施する。	
学校評価や授業評価等の充実を図り、学校運営や授業改善の活用を図ったか。	○おおむね達成した。 授業評価、保護者アンケート、自己評価を分析し、改善に取組んだ。	○おおむね達成した。
改善方策	授業評価、アンケートを受け、組織として授業改善に取組む。	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
基礎的・基本的な知識や技能の習得と、それらを活用する学習活動を推進したか。	○ある程度達成できた。 少人数・ＴＴ、個別指導など特色ある指導の充実を図ることができた。	○おおむね達成した。
改善方策	授業改善に努めるとともに、課外指導の充実を目指す。	
生徒理解を深め、教育相談や様々なサポート体制が充実したか。	○十分達成した。 ・関係機関との連携 ・面談と個に応じた指導計画	○十分達成した。
改善方策	特別支援に係る研修の充実と指導法研究に努める	
命を大切にし、他者を思いやる人間性豊かな心を育成する指導が出来たか。	○十分達成した。	○十分達成した。
改善方策	ボランティア活動の推進とともに人権教育の継続実施。	
いじめの未然防止や実態把握に努めるとともに、家庭と連携し、学校全体で組織的に対応する体制を築くことができたか。	○達成した。 いじめ防止に向けた校内研修を実施することにより、いじめの未然防止と積極的認知に努めた。	○おおむね達成した。
改善方策	教職員による防止、対応に係る研修の実施と定期的な家庭との情報交換の実施を継続する。	
部活動や課外活動の活性化を図り、主体的に行動できる生徒を育成したか。	○達成した。 生徒会が中心となり主体的に行動することができた。	○十分達成した。
改善方策	全校生徒が主体的に考え、行動する機会を増やす。	
生徒個々の進路目標を明確にさせ、積極的に進路実現を図る生徒の育成に努めたか。	○達成した。 進路学習や職業体験をとおして、進路目標の設定と進路実現を促すことができた。	○十分達成した。
改善方策	進路目標を実現するための意識づけを意図的、計画的に行う。	
生徒に還元できる教職員の研究・研修体制の充実と教職員の健康管理に努めたか。	○十分達成した。 年間をとおして、定期的な研修会、ミニ研修会を開催し、研修の充実を図ることができた。	○十分達成した。
改善方策	研修機会の設定とバランスのとれた業務分担の実現。 組織的・機能的な取組みを継続して行う。	
公表方法	1 ホームページでの公開 2 ＰＴＡ総会での説明 3 保護者への資料の配付	